

【平成17年度専修学校を活用した若者の自立・挑戦支援事業】

事業名	パティシエ・ブランジェ養成		
学校法人名	学校法人本山学園		
学校名	西日本調理製菓専門学校		
代表者	理事長 室山 哲雄	担当者・連絡先	理事長 室山 哲雄 tel:086-223-8822
<p><事業の概要></p> <p>まず委託事業受け入れ企業を決定するために、現在インターンシップ先となっている関係企業に依頼して2社のホテル及び結婚式場1社の承諾を得た。参加学生は学生および父兄に説明を行い、内容を理解したうえでの希望者12名が参加した。校内にプログラム実施分科会を立ち上げ、学識経験者、同種専門学校校長および関連企業代表者からなる委員並びに本校校長を委員長とする事業実行委員会による事業推進体制を構築し、実行委員会によって参加学生の実習単位の構成、タイムスケジュール、企業側実習生評価マニュアル、学生側「デュアルシステム」評価マニュアル等の検討、決定を行った。一人一日5時間、延14日間で実施し、実習を依頼している企業から随時連絡を受け、西日本調理製菓専門学校職員が巡回するようにした。また企業における学生の出欠を確認し連絡事項を聴取、学生からも連絡事項があれば受けるようにした。</p> <p><成果></p> <p>11月～1月にかけて調理企業実習を行い、12名が参加した。実施結果として、参加学生に就業意欲の向上が見られ、学校と企業との業務連携も向上した。受講生のうち1名が研修企業先に就職を果たし、他6名も研修先企業ではないが就職が内定している。残り5名については、新たな分野に興味を持ち本校別コースへ編入が決まっている。また、日本版デュアルシステムに対する問題点・課題が鮮明になった。今回の事業がニート・フリーター対象とならず、意欲のある学生が参加しており、本来対象とすべき層とは対極にある学生が参加する結果となった。本来対象とすべきフリーター・ニートに対しては、学納金、講義時間、単位認定等障害となる部分のハードルを低くすることが必要と思われる。また、学校で学び、将来に渡って、フリーター・ニートとなる予備軍の学生については、早い時期からのインターンシップ等で仕事や生き方について、モチベーションを高め、考えさせる等、就職意欲の高揚を図る努力をすべきである。</p>			